

ビギナーズ向け ポスター作成の手引き

学術大会のポスター作成を初めて行う方々に向けて、作成方法の手引きをご用意しました。こちらの資料はあくまで参考資料ですので、ご自身の環境に合わせて、適宜方法を変更してください。

○タイトルの作成方法

【作成要項】

- タイトルは、縦 20cm×横 70cm のサイズに収まるように作成してください。
- タイトルには演題名、氏名、所属を表示してください。

● 1 枚刷りで作成する場合（大判印刷機や印刷業者等を使用する場合）

- ① PowerPoint の「デザイン」→「スライドのサイズ」→「ユーザー設定のスライドサイズ」を選択。
- ② スライドのサイズ指定「ユーザー設定」、幅 70cm、高さ 20cm、印刷の向き「横」と設定する。
- ③ 必要事項（演題名、氏名、所属）を記載する。この際、共同演者の氏名や所属も記載する。
- ④ 印刷する、または印刷を依頼する

● A4 用紙 3 枚を貼り合わせて作成する場合（通常印刷機で作成する場合）

- ① A4 用紙は横向きにすると縦 21cm×横 29.7cm になるため、横向き 3 枚に印刷して切り貼りをすることで、タイトルに丁度良いサイズにすることができます。
- ② Word の「レイアウト」→「サイズ」→「A4」を選択。さらに「印刷の向き」を「横に設定」する（上記の PowerPoint を使用した方法でも可能）。
- ③ 用紙 3 枚を切り貼りして作成することを想定し、演題名や氏名、所属を 3 枚の用紙に分割して記載する（のりしろ部分を考慮しつつ横が 70cm に収まるように作成する）。
- ④ A4 用紙に印刷し、規定のサイズに収まるように切り貼りする。

○ポスターの作成方法

【作成要項】

- 発表内容は縦 140cm×横 90cm のサイズに収まるように作成してください。
- 一般的に、一枚刷りの A0 用紙サイズ縦（縦 118.9cm×横 84.1cm）であれば 1 枚、複数枚刷りの A3 用紙サイズ横（縦 29.7cm×横 42.0cm）であれば 8 枚貼ることが可能ですので作成の際の参考にしてください（A3 用紙 10 枚とすると下に 10cm 程度はみ出てしまいますが、フリースペースの上部を使用しない場合には多少の超過は問題ございません）。
- 利益相反（Conflict of Interest: COI）の有無に関する開示を必ず記載してください。

● 内容の構成

- 演題登録時の小見出しに合わせることを推奨

【研究・調査報告】	【症例報告】	【実践報告】
<ul style="list-style-type: none">● はじめに、目的● 方法（倫理的配慮、説明と同意）● 結果● 考察● （結論）● 利益相反の開示	<ul style="list-style-type: none">● はじめに、目的● 症例紹介、評価、リーディング（倫理的配慮、説明と同意）● 介入内容と結果● 考察● （結論）● 利益相反の開示	<ul style="list-style-type: none">● はじめに、目的● 実践内容、方法（倫理的配慮、説明と同意）● 結果● 考察● （結論）● 利益相反の開示

● ポスター作成時のポイント・注意点

- フォントサイズはタイトル（70～90pt）、小見出し（60～70pt）、本文（32pt～40pt）が推奨される。
- フォントは日本語（メイリオ、游ゴシック、MSP ゴシックなど）、英字（Arial、Segoe UI など）が見やすいとされている。
- 配色は合計 4 色までが良いとされている。
- 図表を適切に使うことで、聴講者に分かりやすく伝わる。

● **A0用紙1枚刷りで作成する場合（大判印刷機や印刷業者等を使用する場合）**

- ① PowerPointの「デザイン」→「スライドのサイズ」→「ユーザー設定のスライドサイズ」を選択。
- ② スライドのサイズ指定「ユーザー設定」、幅84.1cm、高さ118.9cm（A0サイズで作成する場合）、印刷の向き「縦」と設定する。
- ③ スライド内に発表内容を記載する（ズーム機能を利用すると作成しやすい）。
- ④ ポスターデザインは配置を上から下あるいは左から右へ、またこれらを組み合わせて構成すると読みやすい。

A0サイズの場合（例）



例：研究・調査報告

例：実践報告

● A3用紙またはA4用紙複数枚で作成する場合（通常印刷機で作成する場合）

- ① PowerPointの「デザイン」→「スライドのサイズ」→「ユーザー設定のスライドサイズ」を選択。
- ② スライドのサイズ指定「A3」または「A4」、印刷の向き「横」と設定する。
- ③ 各スライドで項目を分けて発表内容を記載し、作成する（印刷時に余白ができるためスライドの端まで記載しても問題ない）。
- ④ ポスターデザインは配置を上から下あるいは左から右へ、またこれらを組み合わせると読みやすい。

A3サイズ（8枚）の場合



例：研究・調査報告

例：症例報告

● 利益相反の開示について

- 利益相反（Conflict of Interest: COI）とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を指す。
- 発表内容に関連し、申告すべき利益相反状態が無い場合には、「**本演題に関連して、筆頭演者および共同演者に開示すべき COI はありません。**」とポスターあるいはスライド内に記載する。
- 発表内容に関連し、下記の申告すべき利益相反状態がある場合（外部との経済的な利益関係等がある場合）にはその旨を発表資料に明記する（具体的な基準は以下の日本理学療法学会連合の利益相反の開示に関する基準を参照）。

【参考資料：利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示に関する基準】

- 1) 臨床研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体（以下、企業・組織や団体という）の役員、顧問職については、1つの企業・組織や団体からの報酬額が年間100万円以上とする。
- 2) 株式の保有については、1企業あたり1年間の株式による利益（配当、売却益の総和）が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合とする。
- 3) 企業・組織や団体からの特許権使用料については、1つの権利使用料が年間100万円以上とする。
- 4) 企業・組織や団体から、会議の出席（発表）等、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）については、1つの企業・組織や団体の総額が年間50万円以上とする。
- 5) 企業・組織や団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料（印税含む）については、1つの企業・組織や団体の総額が年間50万円以上とする。
- 6) 企業・組織や団体から提供される研究費については、1つの企業・組織や団体から臨床研究（受託研究費、共同研究費など）に対して支払われた総額が年間200万円以上とする。
- 7) 企業・組織や団体から提供される奨学（奨励）寄付金については、1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室の代表者に支払われた総額が年間200万円以上の場合とする。
- 8) 企業・組織や団体から提供される寄付講座に申告者らが所属している場合とする。
- 9) その他、研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円以上とする。